

大西さんには、京都での院生時代から、昨年 2023 年のハワイの学会でのワークショップに呼んでいただくまで、33 年間にわたり様々な場面で大変お世話になりました。大西さんのお人柄もあり、親しく議論させていただけたのは、私としては大変ありがたいことでした。振り返ってみますと、大西さんとの関わりが、私の研究の重要な転機になってきたことに気付かされます。京大大学院での初期の反対称化分子動力学の構築と応用、それに引き続く量子統計性にまつわる活発な議論、その後しばらくして始めたパイオン生成の研究については、そのいきさつを含め、追悼研究会でお話しさせていただきたいと思います。

大西さんはたくさん種をまいてくれていました。コメントしていただいた瞬間は、そんなこと言っても仕方がないよと思うこともありましたが、しばらくして忘れた頃に効いてきたということがいくつもありました。これから芽を出す種もあるでしょう。大西さん、本当にありがとうございました。

小野 章 (東北大学)